

27年9月分

製品市場の荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成27年9月1日～ 27年9月10日

2. 調査実施方法

全国の製品市場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
9月分の回答企業数は6社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		27/9月	10月	11月
入荷動向	国産材製材品	△ 8.3	16.7	8.3
	外材製材品	△ 25.0	0.0	0.0
	その他	0.0	△ 10.0	△ 10.0
販売動向	国産材製材品	0.0	33.3	25.0
	外材製材品	16.7	25.0	16.7
	その他	10.0	20.0	20.0
在庫動向	国産材製材品	0.0	8.3	8.3
	外材製材品	△ 8.3	△ 16.7	△ 8.3
	その他	△ 10.0	△ 10.0	△ 10.0

・国産材製材品の入荷は9月の減少が、10月、11月は増加。外材は9月の減少が、10月、11月は横ばい。その他は9月の横ばいから10月、11月は減少。

・製材品の販売は、総じて3ヵ月連続して増加。
・国産材の在庫は9月の横ばいが10月、11月は増加。外材及びその他は3ヵ月連続して減少。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目		27/9月	10月	11月
スギ	柱角 KD10.5×3	8.3	16.7	8.3
	柱角 KD12×3	0.0	8.3	0.0
	通し柱 12×6	0.0	0.0	0.0
	桁角	0.0	8.3	0.0
	母屋角	16.7	16.7	0.0
	タルキ	0.0	10.0	8.3
	間柱	8.3	8.3	8.3
	加工板	0.0	0.0	0.0
	ヌキ	0.0	8.3	0.0
	平割	0.0	8.3	0.0
ヒノキ	柱角 KD10.5×3	0.0	25.0	8.3
	柱角 KD12×3	0.0	25.0	8.3
	土台角 10.5×4	8.3	33.3	16.7
	土台角 12×4	8.3	33.3	16.7
	通し柱 12×6	0.0	10.0	0.0
カラマツ土台角10.5×4	0.0	0.0	0.0	
米マツ平角	0.0	20.0	0.0	
米マツ割物	0.0	16.7	8.3	
北洋エゾマツタルキ	0.0	0.0	0.0	
北洋アカマツタルキ	△ 12.5	12.5	12.5	

・スギ製材品の価格は、通し柱及び加工板が3ヵ月連続して横ばいの他は、総じて保合ないしやや強保合。

・ヒノキ製材品の価格は、総じて9月の保合が、10月、11月はやや強含みに。

・カラマツ土台角及び北洋エゾ末タルキは、3ヵ月連続して横ばい。

・米マツ平角は9月の横ばいが、10月強含み、11月は横ばい。米マツ割角は9月の横ばいが、10月、11月はやや強含み。

・北洋アカマツタルキは9月の弱保合が、10月、11月はやや強含み。

モニターからのコメント

(荷動き)

・入荷順調、アカマツタルキが不足。新築棟数の伸び悩み、国産材・外材共に動き悪い。10月の記念市に向けて在庫を確保する（関東）。

・国産材は、原木出材増見込む、秋需に期待（中部）。

・ヒノキ土台角が雨の影響で入荷減少気味。ヒノキ土台はプレカット工場からの引合いが多い（関西）。

(価格動向)

- ・スギ柱角 (KD10.5cm、12.0cm) 60,000円/m³、スギ桁角 (東北グリーン材) 40,000円/m³、母屋角 (東北材) 40,000円/m³、スギタルキ (東北材) 45,000円/m³、スギ間柱 (KD) 63,000円/m³、スギ加工板 (グリーン材) 東2,800円、(KD) 東4,000円、スギヌキ (東北) 38,000円/m³、(秋田) 48,000円/m³、スギ平割 (プレーナー) 45,000円/m³、同 (ラフ) 40,000/m³、ヒノキ柱角・土台角 (KD) 85,000円/m³、米マツ平角KD65,000円/m³、米マツ割物AD65,000円/m³、北洋アカマツタルキ、(S) アッセンブル価格68,000円/m³、バンドル価格65,000円/m³、(P) アッセンブル価格58,000円/m³。バンドル価格55,000円/m³ (関東)。
- ・スギ柱角は外材の動向もあるが、需要から見ると横ばいか。スギ小径木は品薄ではあるが、価格には反映せず。ヒノキは8月底打ちと見たい。原木出材減と需要上向きにより見通しはやや上昇 (中部)。